

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 9 2 号
件 名	5歳から11歳の新型コロナウイルスワクチン接種について保護者 がそのメリット、デメリットを判断するための最新の副反応情報提 示を新潟市ホームページに求めることについて
要 旨	<p>今年3月から、5歳から11歳の（以下、子供向け）新型コロナウイルスワクチン（以下、コロナワクチン）接種が始まり、6か月が経過しようとしています。新潟市は、子供向けコロナワクチン接種についてホームページ（以下、HP）で特設されていますが、その内容の改善を要望します。</p> <p>子供向けコロナワクチン接種については、その効果（メリット）と副反応（デメリット）の状況を踏まえ、保護者が総合的に判断しなければなりません。そのためには、新潟市は保護者が判断するための最新の情報を提示する必要があります。情報提示については、令和3年度市長とすまいるトーク中央区意見交換会の「個人で判断できない年代のワクチン接種について」としての要望の中で、新潟市保健衛生部長は「不安なくワクチン接種を受けていただける、あるいは受けないという選択をされるためにも、さらなる情報の提示について積極的に進めたい」と回答しています。</p> <p>子供向けコロナワクチンは、接種開始時期の3月ではオミクロン株に対する有効性のエビデンスが十分でないため、努力義務から外されましたが、8月の厚生労働省の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会で、有効性のエビデンスが認められるとして努力義務が適用されることとなりました。この有効性については、各種の効果に分け新潟市は最新情報としてHPに掲載しており、その詳細については厚生労働省のHPへのリンクも貼り付けられています。</p> <p style="text-align: right;">（裏面につづく）</p>
付 託 年月日 委員会	令和4年9月15日 市民厚生常任委員会
受 理	令和4年9月6日 第257号

一方、子供向けコロナワクチンの副反応については、医療機関から7月10日までに110件報告されており、厚生労働省のHPで公開されています。110件のうち死亡1件、重篤27件となっています。

しかし、新潟市のHPに掲載されている副反応の情報は、子供向けコロナワクチンのリーフレットに掲載されているものを、ただ貼ってあるだけです。しかも、その情報は今から1年以上も前に海外で行なわれた試験結果の情報です。効果（メリット）については、最新情報を分かりやすく載せているのに、副反応（デメリット）については、1年以上も前の情報をただ貼り付けているだけというのは、一体どういうことなのでしょう。市民に対し、「不安なくワクチン接種を受けていただける、あるいは受けたくないという選択をされるためにも、さらなる情報の提示について積極的に進めたい」と約束したことを有言実行していただき、副反応についても最新情報を掲載してもらいたいです。

保護者は、我が子を守るために何が最善であるか判断しなければなりません。しかし、どのような副反応が医療機関から報告されているか、忙しい子育て世代が知らない可能性が大変高いです。また、膨大な厚生労働省のHPからその情報を探すのは非常に困難です。副反応はワクチンを接種する上で重要な判断材料であり、最新の効果（メリット）とともに最新の副反応（デメリット）の情報が絶対不可欠です。

既に、接種後に死亡例、重篤例が発生している中で、我が子に対し保護者が後悔のない判断をするためにも、副反応の状況を必ず把握しておかなければならないと考え、厚生労働省のHPで公開されている子供向けコロナワクチンの副反応疑い報告についての詳細を、新潟市HPに掲載してください。また、厚生労働省のワクチン副反応検討部会が開催されるたびに増えてきているので、最新情報への更新もお願いし、陳情いたします。